

# 社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成26年2月4日

計画の名称	1 地域防災力の強化（防災・安全）		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	豊中市
計画の目標			

災害に強いまちづくりを推進するため、大規模地震発生時の消火栓に代わる代替水利として、耐震性貯水槽を未整備の区画に順次整備していき、長期的に市の防災基盤を高める。  
また、大規模災害が発生した場合、自主防災組織をはじめ地域住民による救助・救出活動が実施できるよう、地域防災拠点を整備し、防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図り、災害に強い安心・安全な地域づくりを推進する。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>市域を250mメッシュで区画し、そのなかで防火水槽等（プール、防火水槽、耐震性貯水槽等）が未設置のメッシュについて、公共的な空地（広場、公園、学校の運動場等）が確保された所に耐震性貯水槽を整備し、防火水槽等充足率を81%から83%に増加させる。</li> <li>年度間における自主防災組織訓練実施率を60%から65%（市内部目標値）に増加させる。</li> </ul>		
----------------	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)							
(防火水槽等充足率%) = (防火水槽等設置済みメッシュ数+設置不要メッシュ数:43) / (市域総メッシュ数:619) ×100	81%	82%	83%							
(自主防災組織の訓練実施率%) = (1年間に訓練を実施した自主防災組織数) / (市内の自主防災組織数:155) ×100	60%	62.5%	65%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	147.3百万円	A	137.3百万円	B		C	8百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	6.8%

## 交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	防災	一般	豊中市	直接	豊中市	都市防災総合推進事業	耐震性貯水槽整備（6箇所）	豊中市						104.3	
1-A-2	防災	一般	豊中市	直接	豊中市	都市防災総合推進事業	防災まちづくり拠点施設の整備	豊中市						33	
合計													137.3		

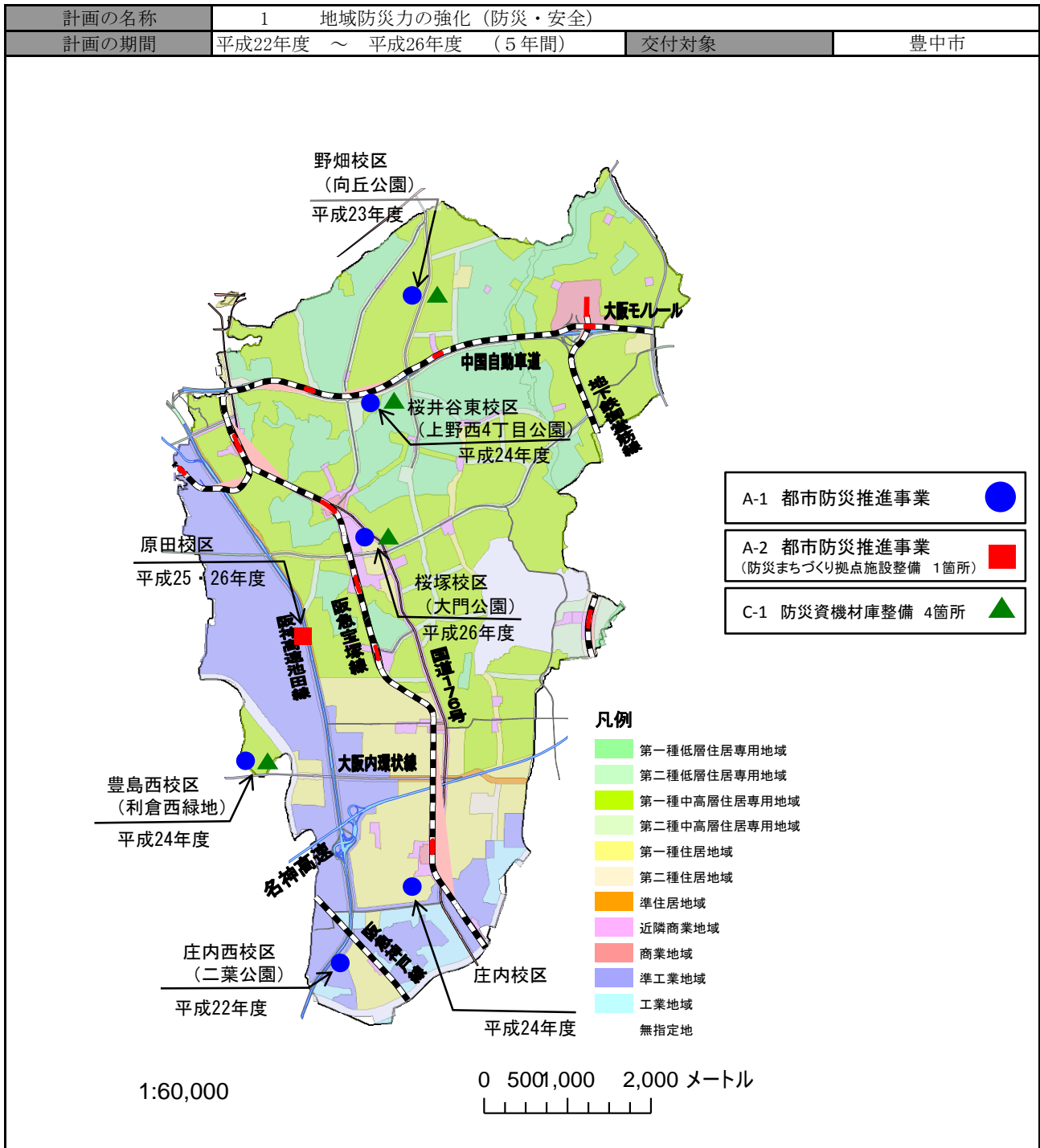
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	施設整備	一般	豊中市	直接	豊中市	防災資機材庫整備	小型動力ポンプ、資機材格納庫整備	豊中市						8	
合計													8		

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
1-C-1	自主防災組織が活用する小型動力ポンプ等を整備することにより、地域の自助・公助による災害対応能力の向上を図り、災害に強い地域づくりを促進する。														

(参考図面) 市街地整備



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 地域防災力の強化(防災・安全) 事業主体名: 豊中市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
<b>①基本計画・上位計画との適合等</b>	
1) 計画の目標が基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
<b>②地域の課題への対応</b>	
1) 地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。	○
2) 計画の必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
<b>③目標と事業内容の整合性等</b>	
1) 目標と指数・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
<b>④事業の効果</b>	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
<b>⑤円滑な事業執行の環境</b>	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○